吐物処理手順

※この手順は一例です。各施設の状況に応じた手順をご検討ください。

あかし保健所保健予防課
AICNN（明石市ICNネットワーク）
2026年度共同作成

1



清潔区域と汚染区域を意識する

2



応援を求め部屋を換気
周囲の人を避難させる

3



準備した物品を確認してから作業開始
（シューズカバー、シールドは必要時）

4



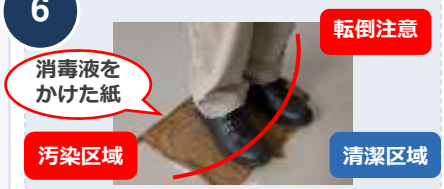
マスク・ガウン・手袋（シールド、シューズカバー）を着用

5



0.1%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液になるように、２Lの水へ消毒液を入れる。
製品により濃度が異なるため確認する

6



可能であれば、嘔吐者に消毒紙を踏んでもらい靴底を拭いてから移動する

7



ゴミ袋A,Bを重ねて清潔区域に置く

8



ゴミ袋Cを汚染区域に置く

9



吐物を紙で覆い、取り除いた吐物をゴミ袋Cに入れる

10



外側の手袋を外し、ゴミ袋Cをしばる

11



新しい紙で再度覆い、消毒液をかける

12



10分程度待つ（その間次の行程へ進める）

13



汚染区域の境界に紙を敷き詰め消毒液をかける

14



消毒紙を踏んで清潔区域へ出る（シューズカバーの場合、外して清潔区域に出る）

15



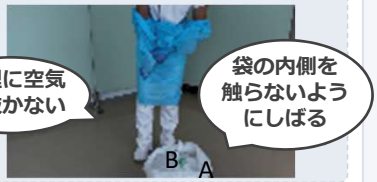
外側から中心へ往復せず一方向に寄せ消毒する

16



消毒で使用した紙類とゴミ袋Cを内側のゴミ袋Bに入れ、しばる

17



手袋→ガウン→マスク（シールド）の順で外し、外側のゴミ袋Aに入れしばる

18



最後に20秒以上かけて、肘まで手洗いをする

※ 汚染された机等も消毒しましょう。また、いざという時に慌てないよう、日頃の備えと訓練を行いましょう。